



| | | |
|---|--|---|
|  <p>市長 大久保 博</p> | <p>千葉県</p> <h1>いちかわし 市川市</h1> <p>ともに築く 自然とやさしさがあふれる 文化のまち いちかわ</p> | <p>【データ】</p> <p>※平成26年4月1日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口：470,285人 世帯数：225,934世帯 面積：56.39km² 市民の花：バラ 市の木：クロマツ 市民の鳥：ウグイス  <p>市章</p> |
|---|--|---|

■ 市川市の紹介

市川市は、千葉県の西部、江戸川を隔てて東京都江戸川区や葛飾区と接しています。都心から20キロメートル圏内に位置し、住宅都市として発展してきました。都心部と県内各地域を結ぶ広域交通網の集中する位置にあり、JR総武線、武蔵野線、京葉線、東京メトロ東西線、都営地下鉄新宿線、京成線、北総線の駅が合わせて16駅あります。また、京葉道路、国道14号などの道路網が発達しています。

交通アクセスの良さから、市内は概ね東京に通勤する人のための住宅地となっておりますが、北部には梨栽培など農業が盛んな地域があります。また、古くは八幡・菅野地区は高級住宅街として栄え、屋敷街を形成しています。付近には学園が多く、文教都市としての特徴も備えています。南部の行徳地区は、鉄道の開通とともに発展した比較的新しい地域で、典型的なベットタウンが形成されています。また、東京湾を臨み、物流の拠点となっているとともに、海苔の産地としても知られています。

■ 市川市のみどころ



アイ・リンクタウン展望施設

地上45階からの360度の大パノラマを無料で楽しめます。都心からある程度離れているため、離れたところから高層ビル群を眺めることができます。



里見公園

この辺りは、かつて下総国の国府が置かれていました。今ではバラや桜の名所となっており、市内外から多くの人々が訪れます。



■健康都市に向けた取り組み

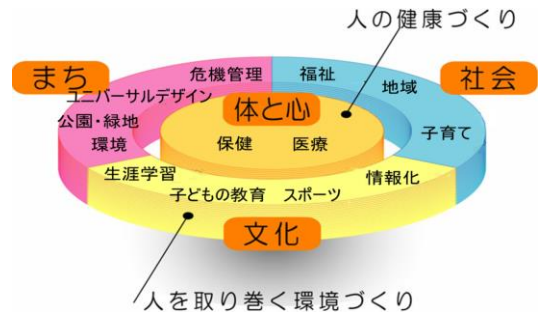
1 「健康都市いちかわ」宣言

市川市は平成16年の市制70周年記念式典において、WHO憲章の精神を尊重した「健康都市いちかわ」宣言を行いました。

2 健康都市プログラム

平成17年に健康都市プログラムを定め、施策を展開していきました。右下の図は、健康都市いちかわを示した概念図になります。中心に体と心、周囲にまち、社会、文化を定め、これら全体で取り組む必要性を強調しました。

平成23年度からスタートしている市川市総合計画第二次基本計画においては、行政の各分野において、健康都市推進の視点を強く反映させた施策を展開しています。また、それらを可視化させるため、健康都市プログラムを作成しています。



3 健康都市推進プラン

平成26年4月に、プログラムの中で重点的に取り組む事業として健康都市推進プランを作り、心の健康づくりに「ガーデニング」を、体の健康づくりに「ウォーキング」をそれぞれ推進していくこととなりました。

| | |
|---|---|
| <p>ガーデニングの推進</p> <p>育むことによるこびを感じられるのが、ガーデニングの魅力です。花やみどりの美しさは人の心を潤します。</p> <p>主な取り組み</p> <p>①市民が花作りに親しむ事業推進</p> <p>②まちの景観整備</p> | <p>ウォーキングの推進</p> <p>いつでも、誰でも気軽に始められるのが、ウォーキングの魅力です。歩くと、新しいまちの風景に出会えます。</p> <p>主な取り組み</p> <p>①ウォーキング関連行事開催</p> <p>②ウォーキングマップの作成</p> |
|---|---|

4 市川市健康都市推進員の活動

市川市では、年10回程度の健康都市推進講座を開催しており、概ね8割以上出席した方のうち、希望者を市川市健康都市推進員に委嘱しています。推進員は、市川市健康都市推進員会として組織的に活動しており、平成25年度は、ウォーキングイベント、講演会・講習会などを開催しました。また、年4回程度、自分達の活動を紹介するため、広報誌を作成しています。また、推進員会としての活動をしつつ自主的に団体を立ち上げ、自治会などと協力しながら活動している方も多くいらっしゃいます。